はじめに……9

第一部　勧善懲悪と史論

第一章　馬琴読本における春秋の筆法――『女仙外史』の影響を手掛かりに……16

一　『女仙外史』における春秋の筆法
二　『俠客伝』に投影される『春秋』の勧善懲悪
三　『俠客伝』における誅心の筆法の推移
四　『八犬伝』における誅心の筆法
五　理論と史実の相剋

第二章　馬琴読本における「雪恨」の理念――中国の戯曲論との関わりを中心に……44

一　判官びいきと「憤り」の問題
二　判官びいきと毛声山の「雪恨伝奇」
三　『曲亭伝奇花釵児』と李笠翁の戯曲論
四　『三七全伝南柯夢』と毛声山の戯曲観
五　『椿説弓張月』における雪恨の理念
六　『開巻驚奇俠客伝』における雪恨の理念
七　『南総里見八犬伝』における雪恨の理念

第三章　馬琴読本における因果律の機能――『新累解脱物語』から『南総里見八犬伝』へ……79
一　『新累解脱物語』における因果律の様相
二　『美濃旧衣八丈綺談』における因果応報と輪廻転生
三　『南総里見八犬伝』における輪廻転生の設定
四　『近世説美少年録』における輪廻転生の設定
五　『開巻驚奇俠客伝』における因果応報と輪廻転生
第四章　『金毘羅船利生纜』の翻案方法――第二編と第三編を中心に……111
一　浄蔵法師の生い立ちとその逸話
二　占い師としての三善清行
三　地獄めぐりの趣向
四　天神縁起説話の導入と展開
第二部　易学と史論
第一章　馬琴読本における易学的趣向――『美濃旧衣八丈綺談』から『近世説美少年録』へ……146
一　『八丈綺談』の先蹤作としての『大雑書抜萃縁組』
二　『八丈綺談』における五行生剋の図式
三　『美少年録』における五行の法則による男女の相性の設定
四　『美少年録』における金剋木の主題

五　『美少年録』冒頭の洪水と硫黄火が示す「水火既済」の象
六　既済の卦による白話小説の筋の再構成

第二章　馬琴読本と五徳終始説――『墨田川梅柳新書』から『開巻驚奇俠客伝』へ……172
一　『墨田川梅柳新書』における水徳の鏡と金気の剣
二　『頼豪阿闍梨怪鼠伝』における南北対立
三　『松染情史秋七草』における鵜鷺合戦
四　『開巻驚奇俠客伝』における闘鶏の趣向
五　輪廻転生と五行生剋

第三章　馬琴読本における予兆・卜占――京伝・振鷺亭と比較して……198
一　南北朝の対立の象徴として描かれる烏と鷺との戦い
二　『双蝶記』における紅白の牡丹・青白の蝶の趣向
三　『開巻驚奇俠客伝』における予兆と卜占
四　『阡陌妹背山』における前兆の設定と南北朝の対立

第四章　馬琴の吉凶観――『後の為乃記』を中心に……221
一　『後の為乃記』に見られる馬琴の吉凶観
二　『後の為乃記』の中の易占と関帝籤

三　『改過筆記』と方位選択
四　享和末から文化年間までの読本作品と随筆
五　文政年間から天保四、五年までの随筆と読本作品
六　天保六年以後の読本作品
第五章　馬琴読本における変易論と勧善懲悪の交渉――『易経』積悪余殃論の影響を手掛かりに……249
一　極盛論と積悪余殃論
二　極盛論と積善余慶論
三　盈虧論と「謙」の原理
四　史書における変易の思想と勧善懲悪の理念
終わりに……273
あとがき……276
初出一覧……277
主要索引……285